

# 渡邊直子さん

## 8000M峰14座の登頂達成

日本人  
女性初

### シエルパと共に14座登頂を達成

大野城市出身の渡邊直子さんは、令和6年10月9日、中国のシシャパンマ（8027M）に登頂し、日本人女性初の8000M峰全14座登頂を果たしました。

気さくで飾らない人柄の渡邊さんにインタビューしましたので、その内容を紹介します。なお、市では渡邊さんの功績を称え、大野城市表彰特別表彰を贈呈しました。

### 14座登頂達成した時の心境は

私にとっての登山は生活の一部で、そういった意味では、1つ登頂ができただという感覚でしたが、「ほっとした」と同時に、いろいろな人への感謝が込み上げた瞬間でもありました。

### 達成の秘訣は

私がつよいのではなく、登頂に重要なのは、登山ルートを決めるフィックスロープを張り、登山隊を先導するシエルパ（ネパールの少数民族。ヒマラヤ登山支援で有名。）です。フィックスロープを張るには、雪を掻き分ける馬力と経験、技術が必要とします。シエルパの中でもこのロープを張れる人は少なく、記録達成者に欠かせない存在であり、もっと目の目を浴びるべきだと感じてきました。

私は、苦楽を共にしてきたシエルパたちが、同じ遠征で共に14座達成したことが嬉しかったです。

### チャレンジ精神は、何処から湧いてくるのですか

こどもの頃からの体験が大きく影響していると思います。小学校4年生のときには初めて中国に行き無人島サバイバル体験をしました。

このイベントには日本と中国の子ども、あわせて192人が参加。中国語は話せませんでした。ジェスチャー

や漢字のやり取りで、中国の子どもたちとコミュニケーションをとっていた記憶があります。その経験から、言葉が通じなくても、何とかなると感じました。その時は、けがをして離脱しましたが、その後の企画に興味を感じ参加し続けました。

小学4年では八ヶ岳雪山登山、中学1年ではパキスタンの子どもたちとパキスタンの山に行き、高山病を初めて経験。

この様な登山を含めたさまざまな体験を楽しむようになっていました。

### 渡邊さんにとって登山の魅力とは

登山は、休日のようなもの。登山事体ではなく、シエルパとの交流や、登頂するまでの出来事などに楽しさがあります。ヒマラヤの滞在期間は、長ければ長いほどシエルパとの交流ができて楽しいと思っています。

### シエルパ（族）の魅力とは

彼らは基本的に単純で素朴。喜怒哀楽を表現し、けんかもありますが、すぐ仲直りします。いじめは無く、すぐ仲良くなれるし、気を使わないで過ごせます。日本ではよくある「本音と建て前」のような事がなく、気を遣わなくていいところに心地よさを感じています。

彼らといると、日本人は教育され